

# 北高 進路だより Vol. 2 (通算 vol.60)

進路指導キーワード **自立** R4.6.7 発行：下関北高校進路指導課

寄稿「私が受験生だった時」シリーズ、北高の音楽教師と云えば…

## 1 目指せ「準備万端」!

音楽科教諭 崎永 恵美

習字の先生、幼稚園の先生、ピアノの先生、小学校の先生…。いろいろな先生に憧れ、将来の夢は？と聞かれると「先生」と答えていた子供の頃。高校生になっても「先生」になりたいとは思っていたものの、自分の学力を考えると、とても教育学部に行って小学校の先生にはなれそうにない。が、まあまあピアノはできる、それならピアノの先生になろう! そう思い音楽大学を目指すことにしました。

高校2年になり、ピアノの先生に「音大を受験したい」と宣言し、それから受験に向けてのレッスンを受け始めました。夏・冬に大学の講習会に参加しましたが、早い人は1年生の時から受講していて、のんびり屋の私もさすがに焦りました。ピアノが弾けたらそれで良いという訳ではなく、関連して様々な勉強が必要でした。それから毎日、部活を終えて帰宅して、ピアノが弾ける間はピアノを練習して、夜遅くは音が出せないので音楽の勉強…。部活(吹奏楽)も辞めたくないし毎日楽器を吹かないと衰えるので全力で練習しました。もちろん学校の考査の勉強も力を入れました。成績が落ちて部活を辞めなさい、とか言われなくなかったですから。ただ、今思い出しても、この2、3年生の時期が苦痛だった記憶はないです。夢中だったからでしょうか、振り返ってみると、むしろ楽しかったという思いです。



文化祭でおなじみ ♪

これで落ちたら仕方ないと思えるくらい練習して、勉強して本番の試験に臨みました。「準備万端」でした。そして受験。合格して希望が叶い、入学後は教職課程を履修し、教員免許を取得しました。卒業後の今は非常勤講師をしています。ピアノの先生にもなれました。運ももちろんあるとは思いますが、二つの夢が叶いました。

今、皆さんは将来就きたい職業とか、こんな人になりたいとかありますか? 決まっている人はそれに向けて早目に行動してください。オープンキャンパスに行ってみたり、資料を取り寄せたりして、何をしていたかなくてはいけないかを見きわめていきましょう。まだ決断できなくても、進もうとしている方向は大きくは変わらないと思います。まだ特に決まっていない人は早めに方向性を決め、動きましょう。どこに向かっていきたいのか決まらなければ誰にでも相談して、話をして進んでいく道を決めて行ってください。

決まったら、あとは「準備万端」で受験に臨めるようにがんばりましょう!

## 2 3年生へ「みきわめる」意識を持つ

6月になりましたが、3年生の皆さんには4月に進路課から「みきわめる」意識が大事であるということをお伝えしました。「自分の進路希望は本当にこれでOKか」そして「今、自分は何をすべきか」を「みきわめる」ことです。これまで5月連休、中間考査、県総体、文化祭がありました。今後も期末考査、野球応援、体育祭など行事等が目白押しです。行事等と進路・受験準備を両立するために「みきわめる」強い気持ちを持って日々最善を尽くしてください。

## 3 2・1年生へ「職業理解ガイダンス」開催します

来たる6月14日(火)に開催予定で、大学・専門学校から講師を招き、様々な職業分野の解説等を講座(分科会)方式で行います。目的は進路選択に向けての情報収集です。臨み方ですが、希望する分野が未定の人は「さがす」、いくつかの選択肢があって迷っている人は「しぼる」ことを目標にしてほしいと思います。

なお、各自の参加講座は4月に実施済みの希望アンケート結果と、参加校のラインナップを元にして近日中に決定されます。

- ※1 新型コロナ感染対策の関係でやむを得ず中止する場合、また諸事情でアンケートでの希望に添えない場合があります。
- ※2 3年生はガイダンス終了後、講座によっては個別懇談が可能な場合があります。



過年度 開催風景より